



日本人の誇り

保護者・地域の皆さん、昨年中は大変お世話になりました。どうぞ本年もよろしくお願いいたします。

さて、新しい年は悲しいニュースでスタートしてしまいました。能登半島地震と航空機の事故です。被災されたすべての方々にお悔やみ・お見舞いを申し上げます。

始業式を始める前に、犠牲となった方々に黙とうをしました。ただ、悲しい中でも、日本人として誇りにすべき出来事もその中であります。

始業式の言葉から～その1～

日本航空の航空機火災でまず思ったことは、日頃の訓練の成果を生かして正しい判断をした客室乗務員のすごさです。自分も怖かったと思うけど、結果的には正しい判断が速やかにできたところです。

乗客もすごかったと思います。外では火の手が上がり、機内がどんどん熱くなっていく中、少しでも早く外に逃げ出したいと思うはずなのに、乗務員の指示に従ってきちんと並んで順番に脱出したそうです。こうして誰一人犠牲になることなく非難することができたのは、日本人の国民性が素晴らしいからだ、と世界中の人がほめたたえているのです。同じ日本人として嬉しいことですね。

避難訓練の大切さを改めて思うとともに、命を預かるものとしての責任と迅速な判断の必要性を強く思いました。

なお、もう一つ嬉しいことがありました。それは、大谷選手からのプレゼントです。

始業式の言葉から～その2～

失敗の数だけ成長がある、ということを教えてくれた大谷選手。

どれだけ周りの人に無理だ、と言われてもあきらめなかった強い意志を持ち続けるヒントとして、「マンダラチャート」

というシートに、具体的な目標を書き込んでいったそうです。これが、その実物です。(実物コピーで説明しました)

大谷選手はきっと今も、このような目標をもって頑張っていることと思います。そんな大谷選手から、大草小の子どもたちにもプレゼントが届いています。そうです。グローブです。日本中の小学校に3つずつグローブを届けたそうです。なぜ3つなのかな？

皆さんもぜひ、自分なりのマンダラチャートを作って、具体的に頑張ることを決めてみてください。

早速次の日からキャッチボールをする風景が運動場に見られました。笑顔で投げ合う子どもたちを見て、改めて大谷選手のすごさを思いました。誇るべき日本人ですね。